				ſ							1			
平成19年度		事務事	業評値	表	担当	総務部	財務	課			内線等	14	22	
事務事業名		予算編成事業							事業 コード					
根拠法令等		地方自治法							A法令					
 総合計画での位置付け									1					
基本	目標	6.市民とともに歩むまちづくり 施策名							財政					
事務	事業の内	内容							1					
対象 (受益者)		予算編成について												
手	段	効率的	かつ効果	見的な予	算を編									
想定す	る成果	経費の節減を図るとともに将来にわたる財政の健全な運営を目指す。												
事業	の概要	1												
項	目	3	平成18年	F度実績		平成19年度実績			į	平成20年度計画				
一般会計 当初予算額		2	23,603,	000千円		23,586,000千円				22,742,000千円				
市債残高		2	26,602,	411千円		25,787,652千円				24,606,458千円				
成果:	指標													
成果指標名		一般会計当初予算額						市債残高						
成果指標の説明		一般会計当初予算額					育 市債残高							
事業の進捗		大況 (一般					会計)			(単位:千円)				
		平成?	18年度》	快算(実	績)	平成19年度決算(実績)			平成20年度予算(計画)					
成果排	旨標	2	23,603,	000千円		23,586,000千円			22,742,000千円					
成果指標		2	26,602,	411千円		25,787,652千円			24,606,458千円					
事業費	事業費	566				570			610					
	人件費	27,244				19,525			19,613					
	(人数)	正規	3.5	非常勤		正規	2.5	非常勤		正規	2.5	非常勤		
	合計	27,810				20,095				2	20,223			
	国													
	県													
財源内訳	市債													
	その他													

20,095

20,223

27,810

般財源

事務事業内容の評価

項	F	目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)	
	F		19評価	16評価	19評価	16評価	計画の就明(同題点)	
達	成	度	2	3	2	3	改善の余地はあると思われるため、さらなる向上を目指 す。	
経済	翰率	性	3	3	3	3		
事務	势 效率	性	3	3	3	2	枠配分予算の導入と新財務会計システムの導入により事務 量の軽減がなされた。	
必	要	性	-	3	-	3	内部管理事務事業	
小	盲	i†	8	12	8	11		
施策~	への貢	献度	3	-	3	-		
合	i	it	11	12	11	11		

達成度等各項目は、0~3点までの4段階評価

総合評価	В	А	В	В	限られた財源を重点的・効率的に配分できるようさらなる 改善を図っていく。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A~Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」

- ・一般財源ベースでの枠予算の実施を目指す。
- ・現システムよりも効率的・効果的な新財務会計システムの運用を平成18年度から行う。

上記改善点の実施状況

実施済

今後さらに改善すべき点

インセンティブ制度の導入や人件費を含めた枠配分など 枠配分予算の更なる改善を図る。また、事務事業評価との 更なる連携を図り、効果的な予算編成を目指す。

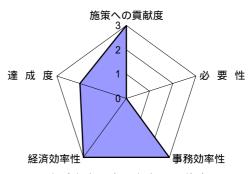
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要 性を、また施策名がその他のものは施策 への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点